

# 根来山げんきの森倶楽部

令和6年3月作業日誌

活動日：令和6年3月17日(日) 9:30～15:30 天気：雨 倶楽部員：37人

今月の活動日は春恒例の植樹祭！この日はあいにくの雨模様でしたが、小雨の中決行。小さな苗木が未来の森を豊かにしてくれることでしょうか。炭出し作業もブルーシートで雨対策が必要でしたが、収量増で職人たちのモチベーションもUPしたようです！この炭、最近編集者も愛用しています。

## 植樹祭

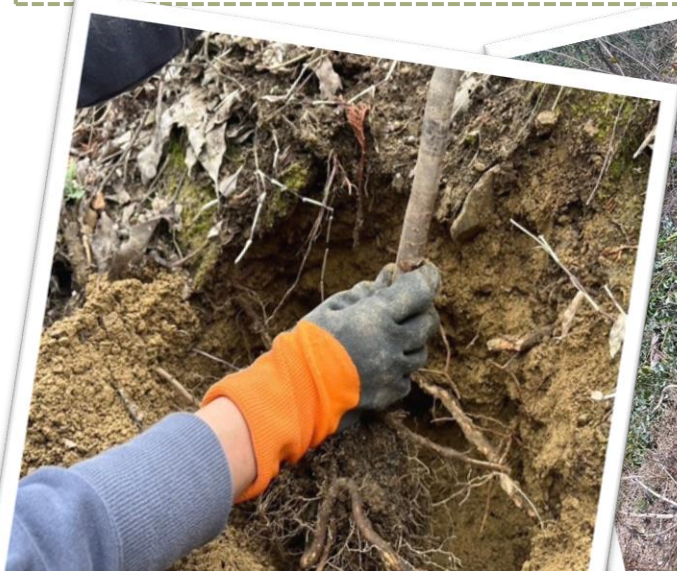
雨で開催が心配されましたが、何とか植樹もできました。

今回準備した苗は、ヤマザクラ、コナラ、シナアブラギリの3種50本。

植樹場所はネゴロザクラの下の北斜面で、昨年、クスノキがはびこってヤマザクラをはじめ他の樹木を枯らせてしまった場所で、そこで育っていた直径30～50cm程もある10数本のクスノキを切り倒してできた空き地。

げんきの森の地形は南に向けては比較的緩やかなのですが、北斜面は崖のような急斜面が多く、今回植樹する場所もなかなか移動が困難な急斜面でした。そのため、植樹の一週間前に倶楽部員10名ほどが出て歩道づくりと植樹場所への竹杭の設置作業を行っていました。

おかげで、当日は事故もなくみなさん楽しく植樹ができました。土壌は樹木の生長に適したいい土地です。そして、意外なことに樹木は南向き斜面よりも北向き斜面の方が成長がいいので、今回植樹した樹木たちはきっとすくすく育ってくれるでしょう。もちろん、何年かは草刈りやつり切りといったお世話は必要なので、また、みなさんご協力ください。（岡田 和久）



## ゆきんコラム

今回は植樹の現場を撮影したのですが、植える時にそこから中に生えてくるクスノキの芽を抜いているのを見てビックリ！学校や神社では守り神として大切にされてるクスノキも、ここでは少し寂しそう。『木も人も、それぞれが一番輝ける場所で輝くのが理想だよなあ…』なんて人間社会と重ねて少しおもしろ切なくなったゆきんでした。

クスノキ的分まで、植えた子達が元気に成長しますように(^ ^)



## うるし谷整備

本日は 9:30 頃から植樹をして、漆谷の整備作業は 10:20 頃からになりました。

作業人員は男子 11 名、女子 1 名、合計 12 名

作業内容は漆谷入口近くの山道に保護ロープを張る為、杭を 11 本打ち込み午後 1 番でトラロープを張りましたが、少し長さが足りず次回に残りました。

また前回切り倒したナナミとコナラ？の木が、山道の斜面にある為運べる大きさにカットして、片付ける作業と同時に、斜面に残っていた笹を草刈り機でカットしてお片付けを実施しました。

天気が朝から雨模様の中、12 名全員で自分に出来る作業を頑張っていました。 (田屋 和之)



## 炭焼き



今回の炭出しは朝から小雨が降ったりやんだり、何ともややこしいお天気の中での活動となりました。

こんな時は雨の日対策の巨大ブルーシートを張って、その下で炭出しを行います。

炭窯の煙突を付け替えてから少し収量が少なくなっていたため、今回はSさん始め、皆さんで焼き方を工夫され、温度の上がり方を調節されたところ、250 kgと、収量はね上がりました。

工夫の結果がはっきりと表れるとさらなるやる気に繋がりますね。

また、今回は神戸の萩原珈琲さんが元気の森の炭にご興味を持たれ、遠く兵庫県からご来園くださいました。

いつか、元気の森の炭を使った焙煎コーヒーが飲めるといことになるとう嬉しいですね。 (森 留津)

### 「サクラ」

サクラの花はきれいです。サクラの意味はなかなか難しそうです。たくさん花を咲かせることから「咲く」に複数の意味する「ら」を付けたという説や「サ」という稲作の神が宿る磐(くら)という説などがありますが、本当のところははっきりしません。それくらい古い時代の言葉だということなのでしょう。

意味はともあれ、サクラの花は日本人の心を浮きだたせてくれます。私も大好きです。特に、ソメイヨシノを代表とするクローンで増やした栽培品種よりも姿も開花時期も多様な野生種のサクラが好きです。

げんきの森には野生種ではヤマザクラとエドヒガンが咲きます。そして、サクラの季節になるたびに、サクラの側で育つクスノキやアラカシ、ヤマモモなどの常緑樹が邪魔者に見えてきて困ります。そして、花が終わった頃からぼちぼちとそんな邪魔者の樹木を切り倒し始めるのです。

今年も切り倒します。みなさんのご協力をお願いします。 岡田 和久